

科目名称	母子看護(母性看護)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期・後期		23
担当教員	森 恭子 門田 友希	授業に関わる 実務経験	■ 有 (助産師) □ 無	

【1】授業概要

母性の概念と特徴及び母子保健と現状を理解した上で、ライフサイクル各期の母性看護を学ぶ。

【2】学習目標

1. 母性看護の意義と役割について知る。
2. 母子保健の動向を知る。
3. 正常な妊産褥婦の看護に必要な知識を身につける。
4. 新生児の看護に必要な知識を身につける。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	母性看護概論 (母性看護の意義と役割)	講義
2	母性看護概論 (母子保健の現状と動向・母性看護領域について)	講義
3	母性看護概論 (ライフサイクル各期の特徴と看護について)	講義
4	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (妊婦の理解と看護①)	講義
5	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (妊婦の理解と看護②)	講義
6	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (産婦の理解と看護①)	講義
7	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (産婦の理解と看護②)	講義
8	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (分娩期の看護)	講義
9	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (褥婦の理解と看護)	講義
10	正常な妊産褥婦・新生児の看護 (新生児の理解と看護)	講義
11	沐浴演習	演習
12	筆記試験(45分)	

【5】評価方法

1. 筆記試験

【6】教科書

海野信也 他著「新看護学 14 母子看護 (母性看護)」 医学書院 2020 年

【7】参考書

参考書は指定しない。

【8】受講生へのメッセージ

科目名称	母子看護(母性看護)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期・後期		9
担当教員	石井 清美	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (助産師) ☐ 無	

【1】授業概要

周産期におこる異常について 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児にわけ、疾患の理解やその対応看護について学ぶ。

【2】学習目標

1. 周産期各時期に生じる異常の特徴について知る。
2. 周産期の母児の疾患について知る。
3. 周産期の母児の看護実践のために必要な知識を身につける。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- ☒ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	周産期の母児の疾患と看護(妊娠の異常と看護①)	講義
2	周産期の母児の疾患と看護(妊娠の異常と看護②、分娩の異常と看護)	講義
3	周産期の母児の疾患と看護(産褥の異常と看護、新生児の異常と看護)	講義
4	周産期の母児の疾患と看護(合併症をもつ妊産褥婦とその管理、産科手術・手技)	講義
5	筆記試験(45分)	

【5】評価方法

1. 筆記試験

【6】教科書

海野信也 他著「新看護学 14 母子看護 (母性看護)」 医学書院 2020 年

【7】参考書

参考書は指定しない。

【8】受講生へのメッセージ

科目名称	母子看護(小児疾患)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期		15
担当教員	藤澤 由樹	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (医師) ☐ 無	

【1】 授業概要

小児の成長・発達とその疾患について学ぶ。

- ・小児看護の基礎を踏まえ、各系統別の疾患について学習する。
- ・小児の特徴にみられる疾患に焦点をあて学習する。

【2】 学習目標

1. 主要な小児疾患の病態生理について知識を得る。
2. 小児疾患に行われる治療・処置・検査について説明できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	第4章 B 新生児疾患患児の看護	講義
2	C 感染症疾患患児の看護 D アレルギー疾患患児の看護	講義
3	E 消化器疾患患児の看護 F 呼吸器疾患患児の看護 G 循環器疾患患児の看護	講義
4	H 血液疾患患児の看護 I 腎泌尿器・生殖器疾患患児の看護	講義
5	J 成長および発育の障害 K 内分泌疾患患児の看護 L 代謝疾患患児の看護	講義
6	M 小児がん患児の看護 N 神経・筋疾患患児の看護	講義
7	O 皮膚疾患患児の看護 Q 整形外科疾患患児の看護 S 眼疾患患児の看護 T 耳鼻咽喉科疾患患児の看護 V その他の疾患患児の看護	講義
8	筆記試験(45 分間)	

【5】 評価方法

1. 筆記試験

【6】 教科書

海野信也 他著「新看護学 14 母子看護(小児看護)」医学書院 2020 年

【7】 参考書

参考書は指定しない。

【8】 受講生へのメッセージ

科目名称	母子看護(小児看護)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期		16
担当教員	窪田 亜加里 佐々木 かおり	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】授業概要

子どもが心身ともに、健康に成長発達する過程を理解する。
 病気や障害をもつ子どもにどのような看護が必要とされているのかを学ぶ。

【2】学習目標

1. 小児各期の成長発達について知識を得る。
2. 小児の疾病予防に必要な対策について説明できる。
2. 病気や障害をもつ子どもと家族へのかかわりに必要な知識を身につける。
3. 小児看護の基礎的知識を身につける。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- ☒ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	第2章 小児看護の基礎 A 母子保健の動向	講義 佐々木
2	B 子供の成長・発達と生理	講義 佐々木
3	C 子どもの栄養 D 子どもの養護としつけ	講義 窪田
4	E 疾病の予防と予防接種 F 子どもの精神保健 G 子どもと社会	講義 佐々木
5	第3章子どもの診療と看護 A 病気をもつ患児・家族へのかかわり	講義 窪田
6	B 入院環境と患児・家族へのかかわり C 小児看護の基礎技術	講義 窪田
7	D 子どものおもな症状と看護 F 救急看護	講義 佐々木
8	特殊な状態にある児の看護	講義 窪田
9	筆記試験	

【5】評価方法

1. 筆記試験

【6】教科書

海野信也 他著「新看護学 14 母子看護(小児看護)」医学書院 2020 年

【7】参考書

参考書は指定しない。

【8】受講生へのメッセージ

科目名称	母子看護(小児看護)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期		7
担当教員	吉岡吾津子	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】授業概要

子どもが心身ともに、健康に成長発達する過程を理解する。
 病気や障害をもつ子どもにどのような看護が必要とされているのかを学ぶ。

【2】学習目標

1. 小児看護の目的、機能について知る。
2. 小児各期の成長・発達をふまえ小児看護に必要な知識を身につける。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- ☒ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	子どもとは 小児看護とは	講義 グループワーク
2	小児と社会	講義
3	小児看護の特徴と役割	講義・DVD
4	筆記試験(小児看護全体で 45 分間)	

【5】評価方法

1. 筆記試験

【6】教科書

海野信也 他著「新看護学 14 母子看護(小児看護)」医学書院 2020 年

【7】参考書

授業で随時提示する。

【8】受講生へのメッセージ

課題:現在における子供の環境と小児医療の現状を考える。